

施策と主な事業を紹介!

第2回市議会定例会の冒頭で、安田市長が平成20年度の施政方針を表明しました。今回、施政方針の概要を6つの重点事項ごとに分けて紹介します。また、併せて主な事業とその予算額についてもお知らせします。(※金額は万円未満を四捨五入)

① 豊かな産業づくり

天草市の発展を支え、活力ある地域をつくるためには、雇用の場を創出するなど、若者等が安心して定住するための環境を整えることが重要です。このため、農林水産業をはじめ、各種産業の振興に力を注ぐとともに、企業誘致などにもなお一層取り組んでいきます。

農業については、国の「食料・農業・農村基本計画」に基づき、担い手の育成・確保をはじめ、経営安定対策や生産基盤の整備などの各種施策を展開し、農家所得の向上を図っていきます。

本市の基幹作物であるデコポンについては生産量が順調に増加し



▲特産・デコポンの収穫作業

ており、引き続き、リースハウスの事業に取り組むことにより経営の安定化を図っていきます。

また、JAなどの出資会社の農林水産物直売所建設を支援することにより、地産地消の促進や少量多品目農家の育成を図っていきます。

さらに、農地保全については、農業者や地域住民で構成する組織が農地や農道などを保全する、農地・水・環境保全向上対策事業などを推進するとともに、天草黒牛を放牧することにより耕作放棄地の減少に努めていきます。

このほか、イノシシによる農作物への被害を防止するため、有害鳥獣捕獲報奨金を引き上げ、捕獲活動を積極的に支援するとともに、解体処理施設の建設を進めていきます。

また、地域の実状にあわせてほ場などの農業生産基盤の整備を図るとともに、用排水路や農道などの維持管理を支援し、生産性の向上に努めていきます。

さらに、都市住民の田舎暮らし

経済関係の機関・団体との連携のもと、事業拡大、経営基盤強化などを支援していきます。また、自信を持って全国に推薦できる商品認定する「天草謹製」の全国展開に向けた取り組み支援や、物産振興協会との共催による物産展や商談会などの開催、農林水産物を含めた天草ブランドの確立や活

用についての検討を進め、販路の拡大を図っていきます。

企業誘致については、昨年度に立地協定を締結した誘致企業3社を支援するとともに、企業誘致に取り組み組織の充実を図り、国や県、天草出身者の方々との連携を強化し、積極的な誘致活動を展開していきます。

② 魅力ある観光地づくり

観光産業は裾野の広い総合産業であることから、天草をさらに魅力ある観光地として発展させ、地域経済の活性化や雇用の場の創出を図っていかねばなりません。

そのため、「(株)天草宝島観光協会」との連携や運営支援を行い、特定の地域や年代層などにターゲットを絞り、それぞれにテーマ性

のある観光キャンペーンを展開するとともに、地域資源を生かした観光商品の開発、ボランティアの観光案内人との協力を進め、積極的に誘客活動を展開し、観光客の増加を図っていきます。

昨年秋から取り組んできた「五足の靴来島100周年記念キャンペーン」は、旅行代理店や旅



▲ボランティアガイドによる観光案内

行雑誌社の評価が高く、観光客にも好評で、天草の新たな魅力の発見につながりました。今後も、天草に息づく歴史や文化、多様な自然や食、地域に息づく人々の生活文化など

- 天草宝島観光協会補助金(天草の地域資源を生かしながら、観光客のニーズを踏まえ、あらゆる視点から事業を展開する協会へ補助を行う).....1億4,409万円
- 本渡中央北地区まちづくり交付金事業(天草切支丹館などの施設と連携する公園や街路などの一体的な整備を行い、天草の観光拠点地域として魅力の向上を図る).....5億2,700万円
- 天草下田地区まちづくり交付金事業(下田温泉地区における道路整備や情報板設置などにより、にぎわいある温泉街の形成を図る).....9,900万円
- 高速船マリンビュー観光活用拡大事業(高速船マリンビューに係る観光商品としての魅力の向上を図るため、研究調査委託を行う).....1,500万円

の素材を磨き上げ、観光資源に育て、継続的に集客が図っていきけるよう、戦略的な観光キャンペーンを展開していきます。

さらに、多様化する観光ニーズを踏まえながら国や県と連携し、長期滞在型観光をはじめ、環境を守りながら自然を楽しむエコツー

体験や、都会に出ていた人たちが出身地や出身地の近隣地域に戻って生活するU・J・Iターンを支援するため、空き家・農地の情報発信や体験ツアーなどを実施することによって、天草の魅力を広く宣伝し、交流人口の拡大に努めていきます。

林業については、水資源のかん